



福岡市議会議員〈南区〉

近藤さとみ

いきいき便り Vol.24
2021 SPRING



『いきいき』豊かな『まちづくり』

発行者：福岡市議会議員 近藤里美 〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市庁舎議会棟 福岡市民クラブ議員控室
TEL:092-711-4736 FAX:092-732-4055 E-mail:satomi-kondo@fukuokashimin.jp URL http://kondo-satomi.jp

コロナ禍にご苦勞の多い介護現場、この機に職場環境の改善を！ ～令和3年度第1回定例議会 補足質疑に登壇～

令和3年度第1回定例議会2月17日(水)～3月26日(金)が招集され、新年度予算案、条例案など、全133議案について審議しました。近藤さとみは、2月の議案質疑、3月の補足質疑と2度にわたり登壇。今号では補足質疑を中心にご報告いたします。

○補足質疑：介護報酬改定を好機とした介護現場の環境改善について

今回の介護報酬改定の特徴

新型コロナウイルスに翻弄され一年が過ぎ、重症化が心配される高齢者のケアに従事される皆さんも、大変なご苦勞を重ねておられます。そうした皆さんの処遇や職場環境の改善に大きな影響を与える介護報酬改定が本年4月に行われます。

今改定では、**感染症や災害への対応力の強化**が盛り込まれている点が特徴的です。



コロナ禍でさらに介護サービスの提供が困難に

福岡市内では、2月末現在で132件のクラスターが確認され、その内23件が高齢者施設でした。発生施設は、認知症の方の利用施設に限ったものではなく、いずれの施設も**身体接触を伴うケアが多いことが理由**であるようです。災害やコロナ禍をふまえ、市民生活を支える上で重要な介護分野についても業務継続計画(BCP)の策定が求められていますが、災害と感染症対策の両面を補完するBCPを策定している事業者は市内の約6分の1という現状。今回の報酬改定を機とした対策の強化を通じて、感染症発生リスクの低減や施設内での感染拡大防止策にさらに取り組まれることが期待されます。BCPの策定には、専門的な知識の必要性や、施設の物理的な課題など、各事業者にとってはハードルが高いことから、市が適時サポートすることを求めました。



感染症対策と腰痛予防の確保の両面に効果大「抱え上げない介護(ノーリフティングケア)」

感染リスクの低減には、直接体に触れる機会を減らすことが鍵であり、「抱え上げない介護(ノーリフティングケア)」は、腰痛を防ぐだけでなく、さらなる進化を遂げています。スライディングボードを使った移乗では、従事者が背中側・後方から支えるケアに取り組みされており、移乗を助ける介護ロボットについても改良が進められています。このケア技法の活用・浸透のためには、**ハードウェアの充実と、それを活用できる介護従事者の知識と技術が不可欠**であり、本市の支援を求めたところ、介護ロボット等の導入促進の取組みを推進するとともに、市主催の「介護ロボット・エキスパート養成講座」において、「抱え上げない介護」の内容充実を検討するとの答弁を得ました。

※この他、「一灯点滅式信号機の廃止」と「洪水ハザードマップの整備」に伴う地域活動への影響について質問しました。

春の市政報告会を開催します!

ご案内

3月議会についてご報告し、
皆さまからご意見等をお伺いする会です。
所要時間は1時間の予定。
マスク着用にてお越しくださいませ!

※なお、新型コロナウイルス対策のため、中止する場合があります。

4月29日(木)13:30～「塩原公民館」1F講堂

5月28日(金)18:30～「アミカス」2F視聴覚室

5月30日(日)10:00～「三宅公民館」1F講堂

